

3級損害保険登録鑑定人

建築

試験問題用紙

(2025年1月)

注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容を記入・マークすると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効(得点なし)となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
5. 解答は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。
6. 1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外(万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等)は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式または選択式の問題です。解答は解答用紙の該当するマークを塗りつぶしてください。

【問題 1】

次の1～8の記述は、建築基準法について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築法規」（実教出版社）に準拠しています。

1. 一般的に、レストランの調理室は、居室に該当しない。
2. 建築物に設ける防火戸、防火シャッターは、建築設備である。
3. エスカレーターの階段の幅は、1.1m以下とする。
4. 「建築面積」とは、建築物の外壁または柱の外線で囲まれた部分の水平投影面積のことをいう。
5. 基礎は、「構造耐力上主要な部分」とであるとともに「主要構造部」である。
6. 鉄道におけるプラットホームの上家は、建築物から除かれる。
7. 建築基準法上、自動車車庫は特殊建築物ではない。
8. 軒の高さは、地盤面から建築物の小屋組、またはこれに代わる横架材を支持する壁、敷げた、または柱の上端までの高さをいう。

【問題2】

次の1～5の記述は、給排水・衛生設備について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「衛生・防災設備」（文部科学省）に準拠しています。

1. 給水・給湯配管に必要な性能の1つとして、配管のためのスペースが多いことが挙げられる。
2. 飲料用機器や医療機器などの排水では、排水管の詰まりによる逆流などが発生し、汚染する可能性があるため間接排水とする。
3. 排水槽は、一般的に建物の床下面の基礎空間に設ける。
4. 給水・給湯設備機器の貯水槽の据付工事において、基礎は底面の点検をするため、下駄基礎とする。
5. 給湯配管において、逃し管（膨張管）は、単独配管とせず、弁を設ける。

【問題3】

次の1～6の記述は、防災・避難について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築法規」（実教出版社）、「衛生・防災設備」（文部科学省）に準拠しています。

1. 屋内消火栓設備は、一般的な建築物の各階に設置される。
2. 内装制限を受ける建築物の居室から地上に通ずるおもな廊下、階段の避難路の仕上げは、難燃材料で行わなければならない。
3. 粉末消火設備は、粉末消火剤を防護区画または燃焼物に放射して、負触媒効果と希釈効果により消火する設備で、ボイラー室や駐車場に用いられている。
4. 建築物の中に、劇場・病院・ホテルなど特殊建築物にあたる用途が含まれる耐火建築物等のいずれかの部分が含まれる場合には、これらの特殊建築物の用途部分とその他の部分とを、または特殊建築物の用途部分同士を、防火構造とした床、壁で区画しなければならない。
5. 警報設備は、火災の発生を知らせたり、ガス漏れや漏電を自動的に検出して建物の関係者に知らせる設備であり、火災発生を消防署に連絡する機器は含まない。
6. 非常用の進入口は、5階以上31m以下の階に、はしご付き消防自動車から進入できるように道などに面する各階の外壁面に水平方向10m以下ごとに設けるのが原則である。










【問題4】

次の JIS A0150 によるア～ケの表示記号で、記号と表示事項の組合せが適切ではないものを下の選択肢から4つ選び、その記号を教えてください。

なお、尺度は 1:100 または 1:200 程度とします。

また、本問題は、「建築設計製図」(実教出版社)に準拠しています。

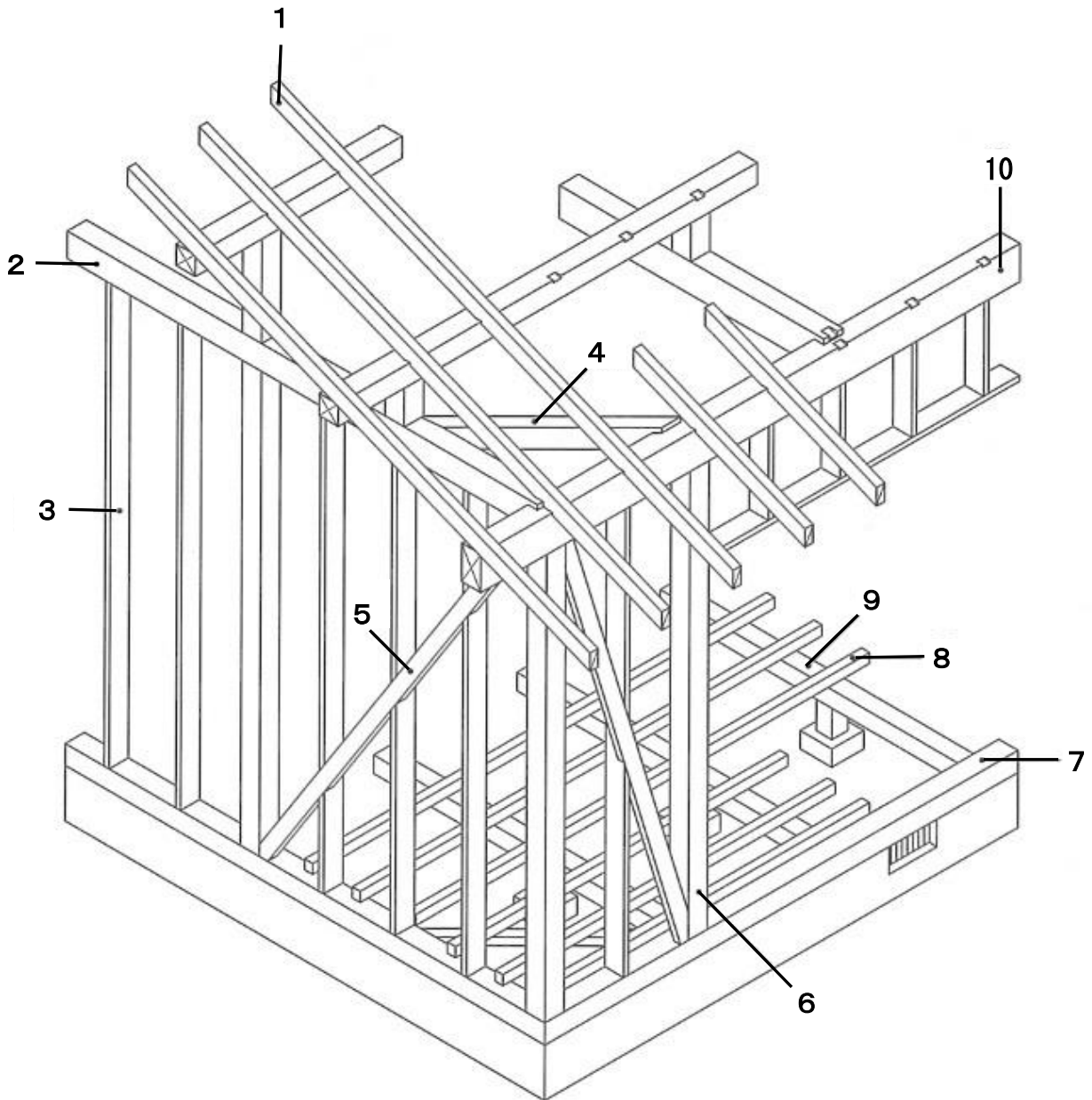
《選択肢》

ア. 雨戸	イ. 出入口一般	ウ. シャッター
		
エ. 窓一般	オ. 網戸	カ. 木造真壁
		
キ. 壁一般	ク. 畳	ケ. 砂利・砂
		

【問題5】

下図の木造平屋建住宅における1～10の部材に該当する最も適切な名称を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。



《選択肢》

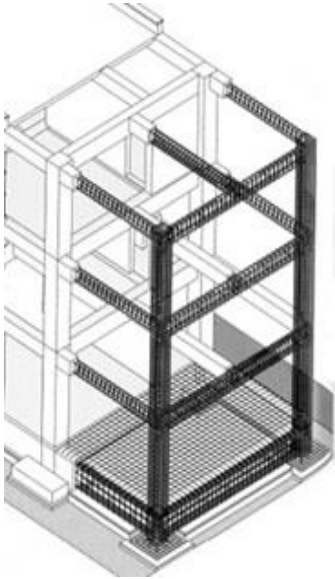
ア. 床束	イ. 柱	ウ. 棟木	エ. 小屋梁	オ. 地貫
カ. 根太	キ. 敷梁	ク. 火打梁	ケ. 妻梁	コ. 鼻隠
サ. 大引	シ. 火打ち土台	ス. 間柱	セ. 内法貫	ソ. 添え桁
タ. 軒桁	チ. 胴貫	ツ. 垂木	テ. 天井貫	ト. 窓まぐさ
ナ. 土台	ニ. きわ根太	ヌ. 筋かい		

【問題6】

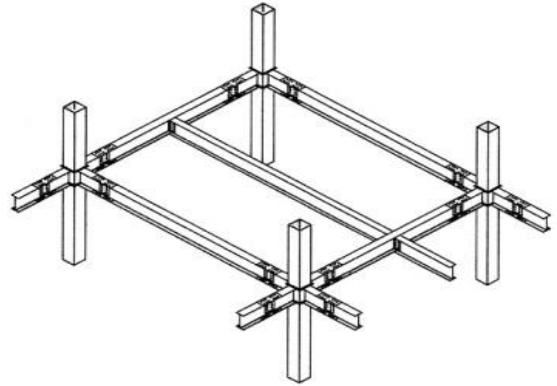
下図の1～3は、建築物の構造や構法を示しています。1～3に当てはまる最も適切な構造・構法をA群の選択肢から、また、それら構造・構法の説明として最も適切なものをB群の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」(実教出版社)に準拠しています。

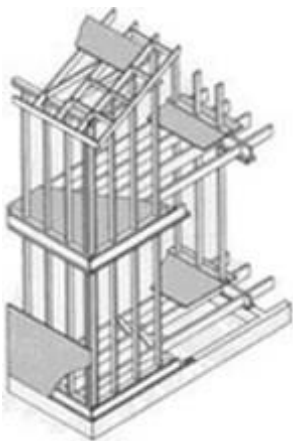
1



2



3



A群

《選択肢》

- | | |
|-----------------|---------------|
| ア. シェル構造 | イ. 鋼構造 |
| ウ. 鉄骨鉄筋コンクリート構造 | エ. 在来軸組構法 |
| オ. 木造枠組壁構法 | カ. 鉄筋コンクリート構造 |

B群

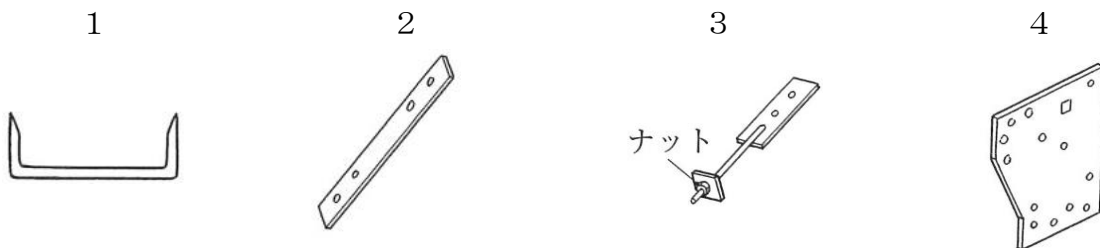
《選択肢》

- | |
|---------------------------------------|
| ア. ツーバイフォー構法（2×4構法）ともよばれる。 |
| イ. 骨組は、接合部を継手や仕口などの加工を施して組み立てる。 |
| ウ. 代表的な構造形式には、ラーメン構造と壁式構造がある。 |
| エ. 貝殻や卵の殻にならって、薄い板で立体的な骨組をつくる構造である。 |
| オ. 基本となる構造形式は、ラーメン構造とブレース構造である。 |
| カ. 石やれんがをアーチ状に積み重ねたものや、わん曲した部材を骨組にする。 |

【問題7】

次の1～4の図は、木構造における接合金物を示しています。これらに該当する最も適切な名称を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。



《選択肢》

- | | | |
|-------------|-----------|----------|
| ア. ホールダウン金物 | イ. 短ざく金物 | ウ. かど金物 |
| エ. 筋かいプレート | オ. 山形プレート | カ. 梁受け金物 |
| キ. 羽子板ボルト | ク. くら金物 | ケ. ひねり金物 |
| コ. アンカーボルト | サ. 柱脚金物 | シ. 丸釘 |
| ス. かすがい | セ. スクリュー釘 | |

【問題8】

次の1～8の記述は、建築材料について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 針葉樹は、一般に堅木といわれ、木肌に美しい模様をもつものが多いため、床・開口部・家具などの仕上材に用いられる。
2. 木材は、繊維飽和点を下回ると、ほぼ木材の含水率に比例して伸縮が生じる。
3. 木材やわら、麻などの原料を繊維状にし、加熱圧縮して成形した板材を繊維板といい、種類としてインシュレーションファイバーボードやパーティクルボードなどがある。
4. 木材の圧縮や引張りの強度と繊維方向との関係は、繊維方向よりも繊維に直角方向のほうが高く、5～10倍ある。
5. モルタルとは、セメントと適量の水を練り混ぜたものをいう。
6. フレッシュコンクリート中の水量を増やすと、流動性がよくなり、分離・ブリーディングも生じにくくなるため、品質のよいコンクリートを得やすい。
7. 鋼の引張試験を行ったとき、比例限度までは引張応力度とひずみ度の関係は直線的に変化する。
8. 鋼材は、熱に弱くさびやすいので、これらにより骨組の強さを失うことがある。

【問題9】

次の1～4の記述は、地盤や木構造について述べたものです。□にあてはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 液状化現象は、地下水位が地表面付近で浅く、密実でない □ **1** の地層ほどおこりやすい。

《選択肢》

ア. 砂質

イ. 粘土質

ウ. シルト質

2. 工場・倉庫などのほか、防火性を要求される住宅などにも広く用いられている外壁は、□ **2** である。

《選択肢》

ア. 板壁

イ. サイディング壁

ウ. 金属板壁

3. 寄棟屋根の小屋組の隅の部分において、□ **3** は、隅木を受ける母屋の交点を支える小屋束を立てるために、軒桁と小屋梁の間にかけて渡す横架材である。

《選択肢》

ア. 敷梁

イ. 陸梁

ウ. 飛梁

4. 下図の建築物の屋根は、□ **4** 屋根である。



《選択肢》

ア. 入母屋

イ. 切妻

ウ. 寄棟

【問題 10】

次の1～8の記述は、鉄筋コンクリート構造について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 鉄筋コンクリート構造に用いる独立基礎は、一般に基礎梁と一体となった基礎スラブが連続した基礎で、断面形状が逆T字形である。
2. 構造物が傾斜して沈下したりしないよう、直接基礎と杭基礎を混用するとよい。
3. 鉄筋は、コンクリートが中性化すると腐食しやすくなり、また、高温によって強度が著しく低下する。
4. 直塗天井（直天井）と吊天井では、防音・防暑・保温の効果において、吊天井のほうが有利である。
5. 内壁の塗仕上げにおいて、合成樹脂調合ペイントは、アルカリに弱く、モルタルやコンクリートの表面に塗装を行うと変色したりするので使用しない。
6. フリーアクセスフロアは、床スラブの上に支持脚を設けてパネルの床を構成し、その上にカーペットなどの仕上材を敷く方式で、床下が密閉され腐りやすい欠点がある。
7. 鉄筋コンクリート構造の屋根は、ほぼ水平な陸屋根が用いられていることが多く、アスファルト防水や塗膜防水といったメンブレン防水などの方法で防水する必要がある。
8. 階段の手すりは、木製や金属製、鉄筋コンクリート製など様々な形式があり、一般にどの手すりも階段のボーダー・踏面・側桁・壁などに取り付けることになっている。

【問題 11】

次の1～7の記述は、鋼構造について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. プレート梁の断面形状は、せん断力の大きさにより決められる。
2. 1階の床は土間コンクリート打ちが多く、2階以上の床ではコンクリートやALCパネルの床にすることが多い。
3. 鋼材の接合方法のうち高力ボルト接合は、引張接合・支圧接合・摩擦接合などの形式があり、このうち引張接合が多く用いられている。
4. 骨組の部材は、形状により単一材と組立材に分けられ、これらは生じる力により引張材と圧縮材の2つに分けられる。
5. 梁に生じる曲げモーメントとせん断力に抵抗するため、形鋼梁では角形鋼管が用いられる。
6. 軽量鋼構造に用いる軽量形鋼は、材厚が幅に比べて薄いため、ふつうの形鋼と比較すると局部座屈を起こしやすい。
7. カーテンウォールは、建築物の外周部で非耐力壁として用いる仕上材であり、主に小規模な建築物の壁面に用いられる。

【問題 12】

次の1～5の記述は、建築施工について述べたものです。□に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問題は、「建築施工」（実教出版社）に準拠しています。

1. 木構造の建方終了後の下地の取付けで、最初に取り付けるのは □ **1** □ 下地である。

《選択肢》

ア. 屋根

イ. 床

ウ. 壁

2. 木造建築物のべた基礎の施工において、天端均しのためのモルタルとコンクリートとの付着をよくするため、コンクリート表面のレイタンスなどをワイヤブラシで除去するとともに、毛ブラシなどを用いて □ **2** □ を行う。

《選択肢》

ア. けがき

イ. むら直し

ウ. 水湿し

3. 鉄筋コンクリート構造の外壁工事において、タイル張付け後にタイルの裏のすきまに水が浸透すると、 □ **3** □ が発生することがある。

《選択肢》

ア. エフロレンス(エフロレンス)

イ. コールドジョイント

ウ. じゃんか

4. 鋼構造の部材製作にあたり、組立の終わった部材にさび止めをすることになるが、 □ **4** □ にはさび止め塗装を施さない。

《選択肢》

ア. コンクリートに密着しない部分

イ. 密閉する部材の外部

ウ. 高力ボルト（摩擦）接合の摩擦面

5. 工事現場で溶接を行う場合、溶接に適さない気象条件には、 □ **5** □ がある。

《選択肢》

ア. 低温

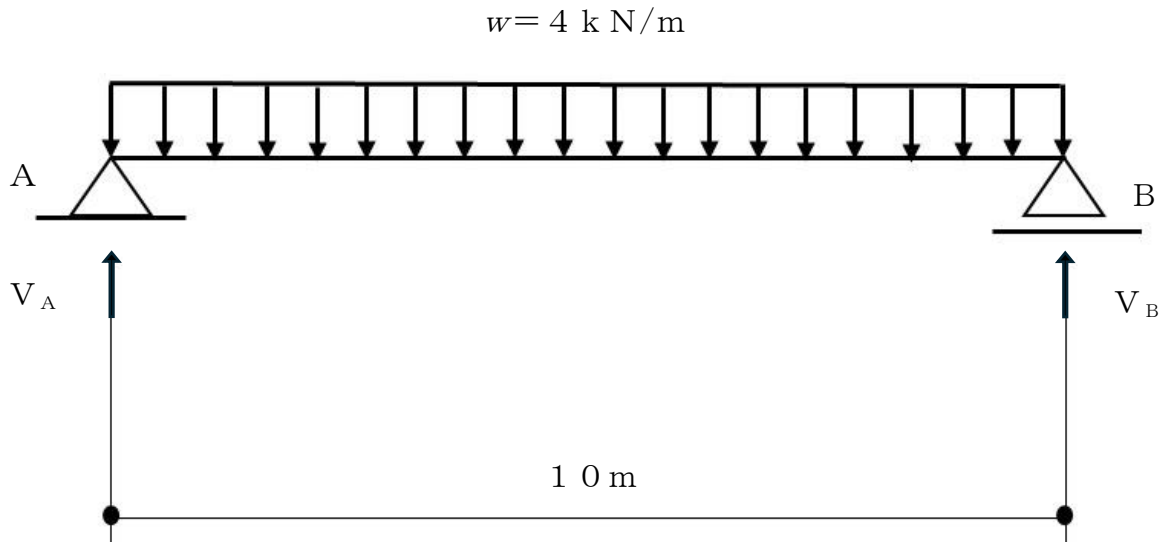
イ. 乾燥

ウ. 無風

【問題 13】

下図のような等分布荷重 $w = 4 \text{ k N/m}$ を受ける静定構造物の A 点の反力 V_A と、B 点の反力 V_B の大きさを最も正しい数値を下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その記号を教えてください。ただし、下図の反力の向きは仮定として (+) の方向に記入してあります。

なお、本問題は、「建築構造設計」(実教出版社)に準拠しています。



1. 反力 V_A の大きさ

《選択肢》

ア. 0 k N	イ. 20 k N	ウ. 40 k N
----------	-----------	-----------

2. 反力 V_B の大きさ

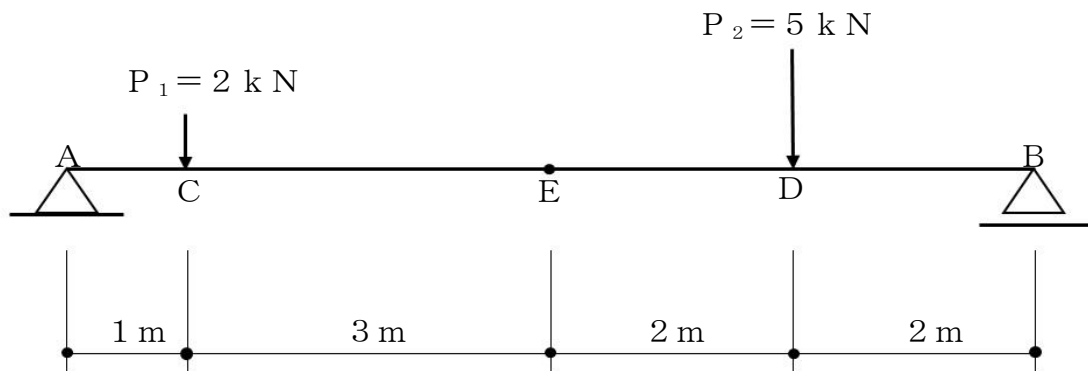
《選択肢》

ア. 0 k N	イ. 10 k N	ウ. 20 k N
----------	-----------	-----------

【問題 14】

下図のような集中荷重 P_1 と P_2 を受ける静定構造物におけるE点のせん断力と曲げモーメントの大きさを、最も正しい数値を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、せん断力、曲げモーメントの「+」「-」も含め、本問題は「建築構造設計」（実教出版）に準拠しています。



1. E点のせん断力

《選択肢》

ア. -4 kN

イ. 1 kN

ウ. 3 kN

2. E点の曲げモーメント

《選択肢》

ア. $3 \text{ kN} \cdot \text{m}$

イ. $6 \text{ kN} \cdot \text{m}$

ウ. $8 \text{ kN} \cdot \text{m}$